

2023. 4.4(火) > 6.25(日)

2023年度
春季企画展

— 休館日 — 月曜日 (ただし祝日の場合は翌日)

10:00 > 18:00 (17:30まで受付)



AIZU YAICHI
MEMORIAL MUSEUM

八一
が
わ
か
る

八一
を
知
る

併設・相馬御風生誕140年 良寛を愛した八一と御風

短歌編

【会 場】新潟市會津八一記念館 (新潟日報メディアシップ 5F)

【観 覧 料】 一般500円、大学生300円、高校生200円、小中学生100円
※団体20名様以上2割引、土日祝日は小中学生無料

【主 催】 新潟市會津八一記念館
【共 催】 新潟日报社
【後 援】 BSN新潟放送
【協 力】 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

新潟市會津八一記念館 TEL.025-282-7612
(10:00~18:00)

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ5F

<https://aizuyaichi.or.jp>



入場割引券
■本券持参で2名様まで
2割引させていただきます
■他の割引との併用不可
■2023.6.25まで有効

八一を知るための入門編

八一は歌人として1,150首ほどの短歌を詠みました。主に奈良の風物や古寺古仏を題材としましたが、そればかりではなく、自然の美に陶醉した歌や戦争体験から生まれる当時の生活や世相を映した歌、新潟帰郷後の晩年に学芸生活の合間に詠んだ歌など幅広いテーマで時代背景を投影した歌も詠みました。

本展では27歳の時に初めての奈良旅行で詠んだ歌から、生涯で最後となった香川県八栗寺の梵鐘に鑄込まれた歌に至るまで、年代順に八一の歌を墨蹟、原稿、歌集などで紹介し、短歌からにじみ出る八一の人生をたどります。

また、良寛研究家で八一と早稲田大学の同級生だった相馬御風の生誕140年を記念し、八一と御風が敬慕した良寛の書作品や遺品などを展示し、両者の交流ぶりも合わせて紹介いたします。

「すゑせんの」に新潟なまりが...



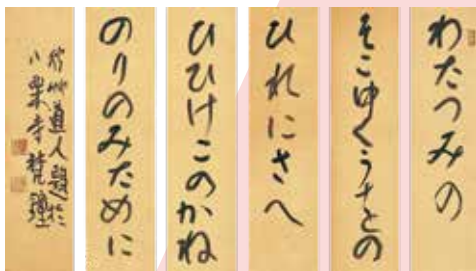
會津八一
《水仙図はすゑせんに》



會津八一
《若草山園あをによし》

27歳、はじめての奈良に感動

四日間かかって詠んだ最後のうた



會津八一
《わたつみの》

イラスト風自画像



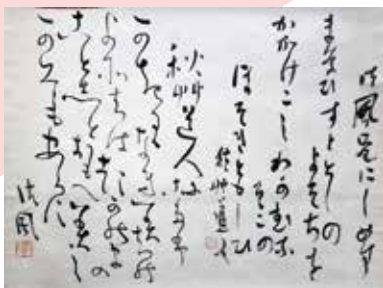
會津八一書簡
櫻井政隆宛(1908年7月25日)

御風も八一も魅了した良寛の「鉢の子」



良寛遺愛の「鉢の子」(個人蔵)

二人の贈答歌



會津八一・相馬御風《まなびすと／かぎりなき》

31年ぶりの再会



糸魚川・相馬邸にて(1946年7月)

関連イベント

【文芸講演会】 「會津八一の歌と生」

【講師】 山田富士郎氏(歌人、現代歌人協会会員)
【日時】 2023年6月2日(金) 14:00~15:30
【会場】 日報ホール(新潟日報メディアシップ2F)
【聴講料】 500円
【定員】 120名

※上記イベントの聴講をご希望される方は往復はがきに住所、氏名、電話番号を明記のうえ、會津八一記念館までお送りください



野中吟雪館長による 作品鑑賞会

【日時】 2023年6月4日(日)
14:00~約50分
【会場】 当館展示室
(申込不要/要当日観覧券)

学芸員による 作品解説会

【日時】 会期中の第2・4日曜日
(4/9、23、5/14、28、6/11、25)
11:00~約50分
【会場】 当館展示室(申込不要/要当日観覧券)

新潟市會津八一記念館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報メディアシップ5F

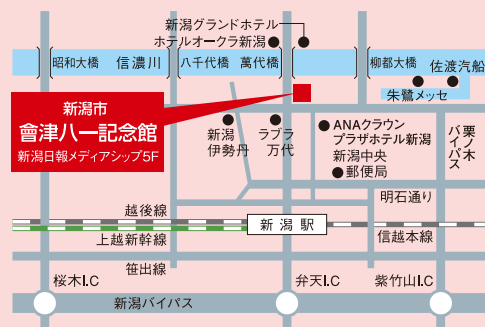
TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614
Mail: info@aizuyaichi.or.jp

当館へはメディアシップのエレベーターをご利用ください。(階段はございません)

◎交通のご案内：新潟駅からバス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港からタクシー約15分

◎駐車場のご案内：新潟日報メディアシップ駐車場(24時間営業)
第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分 税込)

※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。



AIZU YAICHI
MEMORIAL MUSEUM